



再点検！鳥フル対策確認事項！

11月21日に令和4年シーズンに匹敵するペースでの発生を受けて、鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議が行われました。その中で、農林水産大臣より、今後の防疫対策強化について、「危機感の共有」「現場の隙間を埋める」「再点検」「周りに伝播させない、広げない」の4つのポイントが示されました。

そこで、今シーズンの鳥インフルエンザの状況や農場で確認してほしいポイントについて、まとめましたので今後の参考にしてください。

今シーズンのウイルスの状況（11/21 時点）



- ・既にウイルスは全国に分布（全国の野鳥や環境水から検出）
- ・特に水きん類は無症状で広く感染拡大していく可能性が高い

今シーズンの発生農場の特徴

- ・10例中3例が令和4年発生農場での再発
- ・既発生農場や既発生地域では特に発生リスクが高い
- ・飼養衛生管理の水準が比較的高い農場でも発生
- ・野鳥感染未報告地域でも発生



環境中には多くのウイルスが存在しており、全国どこでも高い発生リスクがあります！

特定症状に限らず、僅かな異状でも速やかに家保に連絡をお願いします

主な対策

○飼養衛生管理基準の遵守

- 野鳥や野生動物の侵入防止
ネット等の設置、点検及び修繕、ねずみや害虫の駆除等
- カラス・野鳥の誘引防止
鶏舎周辺の散水・消毒、フィルターや噴霧器の設置等

○今シーズンの事例を踏まえた新たな対策

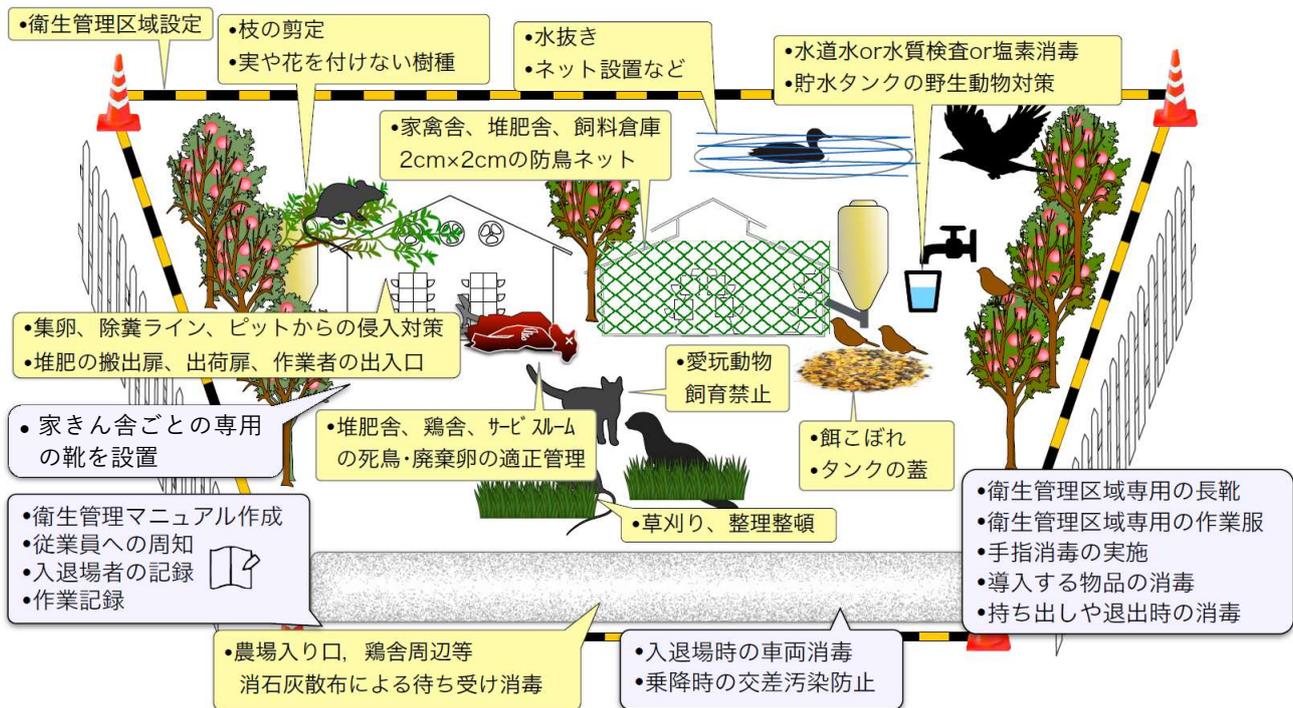
- 農場外の関係者を含めた飼養衛生管理の徹底
例外なき靴・衣服の交換や消毒の徹底、不要不急の工事の延期
- 鶏舎への塵埃侵入防止
鶏舎周辺の散水・消毒、入気口のフィルターや噴霧器の設置等

○野生動物が来ない環境づくり

- テグスの利用等農場内での野鳥対策、周辺水場の水抜き等、餌こぼれ、実のなる樹木、ネズミ対策、死鳥保管、廃棄卵、水場、田圃の二番穂、整理整頓等

○野生動物が家禽舎内に入れられない環境作り

- 防鳥ネット、バーコンシャッター、除糞ベルトの蓋、壁の穴や隙間対策など



神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046) 238-9111 ファクシミリ：(046) 238-9124



県央家保 HP